

歴史と文化を育む文教のまち

# 根石学区

NEISHI



根石小学校と平成27年度6年生児童



甲山中学校



岡崎商業高等学校



根石保育園



第一早蕨(さわらび)幼稚園



岡崎女子大学・岡崎女子短期大学



東公園 浮御堂



東公園 恐竜モニュメント

## 未来に伝えたい 根石学区の魅力

根石小学校 児童の声

歴史と自然が  
たくさんあるところが大好き

岡崎生誕の徳川家康公ゆかりの神社やお寺がたくさんあります。また、根石小の近くに大きな東公園があります。東公園は、季節によって、様々な景色を見せてくれます。梅雨には、アジサイやハナショウブの見事な花が咲き、秋には紅葉などが赤や橙に色づきます。

これらの貴重な歴史や美しい自然は、次の世代のみなさんのためにも、ずっと残していかなければならないと思っています。

甲山中学校 生徒の声

いろんな人と分け隔てなく  
接する温かなまち

根石学区には「福祉の村」という福祉施設があります。私は以前福祉の村の人たちと交流しました。そこには、根石学区の人たちも多く参加していました。障がいを持った人たちと、みんな笑顔で交流する姿を見て、このまちは本当に温かいまちだと感じました。

また、まちを歩くとお年寄りも子どもも分け隔てなくあいさつを交わします。こんな、人との関わりが深い根石学区がいつまでも続いて欲しいです。

1  
ふるさとっていいなあ  
ふるさとっていいなあ  
水面清らか小呂川の  
生き物いっぱい元気だぞ  
メダカにザリガニ  
オタマジャクシ  
さわやかな風 稲田渡る  
ふるさと根石 大好きさ

2  
ふるさとっていいなあ  
ふるさとっていいなあ  
みんなが集う東公園  
生き物いっぱい元気だぞ  
ラクダにリスザル  
象のふじ子  
うれしい楽しい声響く  
ふるさと根石 大好きさ

3  
ふるさとっていいなあ  
ふるさとっていいなあ  
笑顔あふれる町中に  
みんな支え助け合い  
歴史を伝える人の知恵  
あたたかな光あふれる  
ふるさと根石 大好きさ

大好きふるさと根石

作詞：平成18年度根石小学校3年生  
作曲：永田邦雄(根石小学校長)



各自の事前準備で、毎月1回以上集まり、時間を忘れて編集作業に没頭！熱が入りました。

〔作成委員会〕 河合洋人/鈴木弘一/近藤克實/大河原辰夫/  
望月正勝/鈴木宗彦/齊藤晴久/石川新史/高木政宏/中村元保/  
上野雄一/赤堀竜二/柳信幸/足立佐恵子/石原明夫/山口功克

〔参考資料〕 根石小学校百年誌  
〔表紙写真〕 学区内に保育園・幼稚園から大学まで全ての教育機関がある、まさに文教のまちです。また、市民の憩いの場である東公園があります



1 投尋常小学校の校門。現在は小美町順正寺に立つ



2 根石小にある投尋常小学校校章の碑



3 台風23号の水害(栄町)



4 根石小PTA主催の「親と子の音楽のつどい」



5 防災防犯パトロール出発式



6 根石学区民が参加した「五万石おどり」

根石学区

まちなりたち

一八七二年 ■ 明治 5 投 町法円寺に郷学校として小学校支校根石学校創設

一九一三年 ■ 大正 2 額田郡公会堂・物産陳列所竣工(昭和44年岡崎市郷土館となる)

一九一六年 ■ 大正 5 岡崎市制施行

一九二一年 ■ 大正 10 岡崎市投尋常小学校と改称

一九二八年 ■ 昭和 3 中町派出所設立(平成20年廃止)

一九三七年 ■ 昭和 12 中町公設市場開設(昭和48年ショッピングセンターアローとなる)

一九三七年 ■ 昭和 12 投尋常小学校、欠町に移転

一九四五年 ■ 昭和 20 根石尋常小学校と改称：1・2  
フタバ産業(株)起業(現サンクス中町店・ごとう内科一帯)

一九四七年 ■ 昭和 22 甲山中学校開校(中町)

一九四八年 ■ 昭和 23 丸石醸造(株)(中町)清酒製造を再開(創業1690年)

一九五〇年 ■ 昭和 25 学区防火防犯協会発足・後に防災防犯協会連合会に改称

一九五〇年 ■ 昭和 25 市立岡崎病院移転(若宮町)(平成10年に高隆寺町に移転)

一九五三年 ■ 昭和 28 根石保育園開園(朝日町)(平成6年に栄町に移転)

一九六二年 ■ 昭和 37 岡崎商業高等学校が西明大寺町より栄町に移転

一九六二年 ■ 昭和 37 早蕨幼稚園開園(中町燈台山)(平成16年に元欠町に移転)

一九六五年 ■ 昭和 40 岡崎女子短期大学開学

一九七一年 ■ 昭和 46 東公園夜間防犯パトロール開始

一九七一年 ■ 昭和 46 台風23号による栄町水害：3

一九七三年 ■ 昭和 48 根石小学校開校百周年記念式挙行

一九七七年 ■ 昭和 52 学区社教主催の第一回文化展開催(平成19年まで継続)

一九七七年 ■ 昭和 52 第一回親と子の音楽のつどい開催(東公園多目的広場)：4

一九八一年 ■ 昭和 56 学区防災防犯協会連合会主催の第一回防災訓練実施

一九八一年 ■ 昭和 56 根石小・全日本学校環境緑化コンクールで文部大臣表彰

一九九九年 ■ 平成 11 岡崎市郷土館、国の重要文化財に指定

二〇〇〇年 ■ 平成 12 根石小・学校読書活動の実践による文部大臣表彰

二〇〇四年 ■ 平成 16 児童安全ボランティア発足(同年、根石声かけ隊に改名)

二〇〇八年 ■ 平成 20 岡崎げんき館開館

二〇一〇年 ■ 平成 22 学区防災防犯協会連合会に

二〇一〇年 ■ 平成 22 警察庁長官・全防連会長連名表彰：5

二〇一三年 ■ 平成 25 根石小PTA活動に文部科学大臣表彰

二〇一六年 ■ 平成 28 岡崎女子大学開学

二〇一六年 ■ 平成 28 根石小・学校読書活動の実践による文部科学大臣表彰

学区に咲く花たち



カキラン



サワギキョウ



ハナシヨウブ

DATA



□人	13,663人
□男性	6,911人
□女性	6,752人
□世帯数	5,776世帯
□面積	4.50km <sup>2</sup>
[2016年7月1日現在]	

学区名の由来

1506年、今川勢が三河へ侵入した時、「大平河を打越、念し原工押上、岡崎の城ヲバ」と三河物語(大久保彦左衛門忠教著)に書かれています。この物語に「念し原」の地名が出てきます。

念し原は、1566年に徳川家康公の命令により市場もたち、交通の要衝でした。現在の欠町、若宮町一帯です。「根石」の地名は、念し原から生まれたと言われています。

学区の環境

乙川の右岸、吹矢橋の上流、段丘上に市街地が広がり、その北側に変化に富んだ丘陵地があります。丘陵地の先端に東公園があり、四季折々の変化は人々の心を癒し、憩いの場になっています。また、市役所をはじめ消防署など、多くの公共施設があり、学区民が

生活するうえで助けになっています。なお、保育園、幼稚園から高校、大学まであり、文学区区と言われ、国道1号、竜東メインロードなど幹線道路が縦横に走り、交通の便のよい学区でもあります。

学区の活動

毎年、岡崎観光夏まつりがあります。伝馬通りで開催された五万石おどりは、根石学区は「根石学区連」のプラカードを先頭に、女性部を中心に老若男女200名以上が参加しています。「誰れもが住みたいわがまち根石」「根石のこどもは根石で守る」の幟を背に踊ります。この幟に託された思いが学区の活動となっています。(↓写真6)

学区では、総代会をはじめ、各種団体が連携して力を合わせ行動します。総合防災訓練(中学生を含め1000名以上)、学区夏まつり(小学生を含め2000名以上)、学区民体育祭(各町参加で1500名以上)、青色回転灯車による防犯パトロール(毎日出動)など多くの行事を通して安全で安心して生活できる温かみのある学区になるよう学区民が協力し活動しています。

# 根石学区まちものがたりマップ

学区には、貴重な史跡がたくさん残されています。根石小学校の近くにある八柱神社には、家康公の正室、築山御前(瀬名姫)の首塚が、国道1号近くの若宮八幡宮には家康公の長男、信康の首塚があるなど、家康公に関連するものがとても多いのが特徴です。

一方、市役所や岡崎げんき館、東公園などがあり、便利で住みやすいまちです。



岡崎女子大学の屋上から見た根石学区の風景

### アイコンの見方

- T 常夜燈
- 卍 神社
- 卍 寺院
- 〒 郵便局



**C 若宮八幡宮**  
祭神は仁徳天皇。織田信長の命により自刃した家康公の長男、信康の首塚がある



**D 祐伝寺**  
家康公の正室、築山御前の首塚があったが八柱神社に移され、五輪塔のみがある



**B 大泉寺**  
家康公の生母於大の方が1543年に創建した寺。於大の方の墓碑がある



**A 八柱神社**  
熊野権現と築山神明宮が合祀。家康公の正室、築山御前の首塚がある



**F 岡崎城下二十七曲りの碑・冠木門**  
曲り角の多い岡崎の旧東海道の東口。げんき館南東にある



**E 岡崎げんき館・岡崎市保健所**  
根石学区をはじめとした市民の健康づくりの拠点になっている



**G 岡崎市郷土館**  
(旧額田郡公会堂・物産陳列所)  
公会堂と物産陳列所が一緒に現存する、貴重な国指定重要文化財

# 地域 の 偉人 たち

根石から生まれ育った

5代 深田 三太夫

1868  
▼  
1944

岡崎の商工業発展に尽力

元禄3年(1690)

創業の丸石醸造株式会社を経営している深田家は、江戸時代の明和年間より三太夫を名乗り、なかでも5代目は質素儉約・わらじ履き三太夫の異名を残し、幕末から明治の変革期に大活躍しました。

初代の岡崎町長のほか、綿糸問屋創業、銀行開設、商業会議所設立など先頭に立って地域の発展に寄与し、名誉市民になりました。6代目はそれらの頭取として、継続発展に努めました。



現在も深田家が営業を続ける丸石醸造(中町6丁目)

木村 資生

1924  
▼  
1994

人類遺伝学の世界的権威

根石小の6年生は、卒業式の日に、必ず大先輩の木村博士の記念文を贈呈されます。これは、名誉市民・日本学士院会員で、文化勲章

受章の木村資生博士から卒業生へのはなむけの言葉です。

根石小時代(昭和12年卒)は算数が得意だった博士は、集団遺伝学を数学理論で解明し、昭和63年に国際生物学賞平成4年にダーウインメダルを受賞。その栄誉をたたえ、地元の方々の協力のもと、博士の自宅に近いせきれいホルの敷地内に、銅像が建てられました。



せきれいホール前の博士の銅像

# 文教のまちを ささえる学び舎

根石学区には保育園・幼稚園から大学まで、教育機関が揃っています。

## 根石保育園

昭和28年12月、朝日町の若宮八幡宮境内の敷地を借り受け、木造平屋建て園舎で開園した岡崎市で初めての公立保育園です。保育の多様化にこころを配るため、平成6年4月に、現在の栄町に新築移転。南に乙川が流れ、岸に咲く河津桜を眺める自然豊かな環境の中で、豊かな心を育てています。

## 第一早蕨幼稚園

昭和37年、中町の燈台山に創立した第一早蕨幼稚園は、清光学園50周年記念事業により欠町狐ヶ入に新築移転し、現在に至ります。実体験から得られる「感動」や「夢」を大切に、野菜を育てて「美味しい」を実感させたり、命の大切さに気づかせたり、学区民との星空観察会も開催しています。

## 根石小学校

児童の心の栄養と読書意欲の広がり求めて、昭和53年から本の読み聞かせと読書研究を全職員で取り組み、全国的な評価を得ています。「ふれあいフェスタ」や「親子の音楽のつどい」など、地域に根差した活動も盛んです。そして、制服と、松・竹・梅…のクラス名は、岡崎市内でも珍しいです。

## 甲山中学校

平成27年度の市長杯で男女共に総合優勝を果たしました。これは平成28年度に開校70年を迎える甲山中学校史上、初の快挙です。また、甲山中では「スマボラ」(スマイルボランティア)を合言葉に、日常生活での何気ない気配りができる人になるよう活動を進めています。

## 岡崎商業高等学校

商店街経営を学ぶ「OKASHOP部」があります。部は平成25年「おやつ定期便」を高齢者宅や事業者向けに始め、27年には岡崎シビコ1Fに常設店舗もオープン。オリジナル商品「天下シリーズ」の飴や、ぼん菓子などを販売し、評判は上々です。この成果は、全国高校生徒商業研究発表大会で発表しています。

## 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学

第一早蕨幼稚園と併設で、昭和40年に中町燈台山に設立しました。「岡崎観光夏まつり」や清掃活動などの地域行事を、学長はじめ教職員・学生一体で盛り上げています。幼児教育の実習習得のため、学区の子育て支援も行っています。平成25年には、岡崎女子大学も開校しました。

# 学区の名所みどころ

来て！ 見て！

## 東公園

岡崎市民のオアシス

岡崎市出身の世界的な地理学者の志賀重昂が26歳で発表した三河男児歌碑や自宅を移築した南北亭などがあり、文化の散歩道としても親しまれています。無料の動物園や四季折々の自然も見所です。毎年6月に「東公園花菖蒲まつり」が行われます。かつては開会式に根石学区民が「釈迦堂踊り」を踊りました。また、秋には「紅葉まつり」が開催されます。

- 東公園のあゆみ
- 昭和4年：東天竺山世尊寺(釈迦堂) 建立、南北亭移築
- 昭和5年：志賀重昂の墓建立
- 昭和11年：「東公園」と命名
- 昭和16年：岡田撫琴句碑建立
- 昭和35年：三河男児歌碑建立、近藤孝太郎歌碑建立
- 昭和39年：花菖蒲園創設
- 昭和42年：藤井達吉歌碑建立
- 昭和44年：本多光太郎資料館移築
- 昭和50年：志賀重昂銅像建立
- 昭和58年：無料動物園開園、等澗庵移築
- 平成6年：文化の散歩道完成
- 平成20年：動物総合センター「あにも」開設
- 平成24年：旧本多忠次邸移築開館
- 平成27年：恐竜モニュメント設置



1 開園時から飼育されているアジアゾウのふじ子  
2 盛大に行われていた「釈迦堂踊り」の様子(1998年撮影)

2016年現在 48歳です

## おろいけ小呂池



私は「岡崎の大正池」と呼ばれる小呂池です。私の周りは緑一色、秋になると木々が色づき、きれいです。初夏には、水面にスイレンが咲き、トンボやチョウが舞い、小鳥がさえずり、のどかです。一年中、釣りを楽しむ人々が糸を垂れ、道根往還(※)を散策する人が心を癒してくれます。私の水は、ミタライ川を通り、まわりの水田を潤して、伊賀川に流れていきます。(※)東公園の西の入り口「欠の三本木」から、額田の「鍛冶屋の五本松」までの山道のこと

## 常夜燈

学区内には、火伏の神様である「秋葉山常夜燈」、伊勢信仰の「大神宮常夜燈」などさまざまな常夜燈があります。一部戦災などで破損、修復移築をされながら、欠町、若宮町、中町大門通、中町東丸根、栄町、朝日町に残されています。秋葉山常夜燈は、年1回、秋葉山に代参し、お祀りしています。



両町にあった岡崎宿最古(1790年建立)の常夜燈



欠町



中町大門通



朝日町